

## 音楽療法

### ★ 『ぷちとまとの会』での活動について



『ぷちとまとの会』の音楽療法の参加児童は10名ほどで、年令も小学生から高校生までバラバラです。

障がいの程度も様々なので、プログラムを考えるのも難しいのですが、ある程度、子ども達にも定着しつつあるのか楽しみに待っています。



毎回、子ども達の反応には新しい発見があり驚かされます。

例えば、一番最近のエピソードを紹介しますと、楽器活動をしている時に、StartとStopの合図のカードを出す役を子ども達にやって貰っていますが、いつもはすぐにやらせてもらえないと部屋から出て行ってしまいう子が、他の子がやっている間、座って順番を待つ事が出来ました。その役がうまく出来た事と、順番を待つ事が出来た事をととても褒めてあげると、満足そうな笑顔になりました。

まあ上手くいかない時もあるのですが、毎回違う事が楽しくもあり、子ども達も可愛くて、私自身が癒されています。

これからも音楽療法を通して、子ども達と楽しく関わっていきたくと思っています。

《森田》西田



### ★ 個人音楽療法の難しさと楽しさ



音結の個人音楽療法は、和泉市と阪南市の2ヶ所で実施しており、和泉市では、NPO 法人“ぷちとまとの会”さんの会場をお借りして実施しています。

個人音楽療法は、集団力動に頼れない分、子どもとの相性、音楽面とメンタル面の配慮、子どもの個性に合った支援を工夫することなど、Th (セラピスト) の専門性がより問われると感じます。また、保護者の願いと、子どもが今、身につけなければならないことにズレが生じている時、その狭間で揺れ動きながら実施する辛さがあります。それを上手く保護者に伝達することもThの力量なのですが・・・。

でも、マンツーマンでやり取りできるからこそ、子どもの成長を真近で実感できることは、何物にも替え難い喜びです。

《西川》辻



### ★ さらの郷



『さらの郷』ひだまり班のセッションが開始して1年になります。

当初は期待するような反応が見られず残念に思うこともありましたが、暫くすると個々の音への反応の仕方がわかりだし、それに合わせたアプローチをすることによって少しずつ良い反応を示す方が増えてきました。

皆さん楽しみにして下さっている証拠なのか、この頃では部屋に入ると「待ってました」とばかりに拍手で迎えて下さる方もいます。昨年末のク

リスマス会では利用者さん職員さん総勢 30 名ぐらいの参加で楽しいひとときを過ごすことができました。

笑顔の少ない方に笑顔が見えたり、普段何にも参加されない方がこの時間だけは集中できたり、耳から入る音の力を改めて感じます。

この1年間、私自身とても貴重な体験をさせて頂きました。利用者さん、職員の皆さんにとっても感謝しております。

引き続き利用者さんの気持ちに寄り添い、豊かな時間を過ごしたいと思います。

《神村》渡邊

